

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

1 vol.7



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑

1 vol.7

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ロータリー理解推進月間	1
ロータリー理解推進月間にあたって	2
第1回 財団FVPセミナー報告	3
ロータリー財団地域セミナー報告	6
第40回 ロータリー研究会報告	8
スリランカチーム受入報告	10
大阪アーバンロータリークラブ創立総会開催	11
災害支援プロジェクト報告	12
米山奨学委員会	14
ロータリー財団	16
2011年11月度 会員数・出席報告	17
文庫通信	18
敬弔／お知らせ	



謹賀新年

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。

さて、会員の皆様におかれましてはご家族揃って初春をお迎えになられたことと存じます。

昨年は、3月11日に起こりました東日本大震災並びに原発事故の国難に始まり、トルコ地震（5月、10月）、奈良県、和歌山県の台風による大雨被害、ギリシャ、イタリア等ヨーロッパ諸国の経済危機、タイの水害等々、本当に心休まる間がない位次から次へと全世界的規模の危機が起こりました。今年の世界は穏やかな状況で推移して欲しいものと思います。とはいえ、東日本被災地区の苦難はこれから先も続くと思われまますので、皆様方のご支援をいただきながら災害支援プロジェクト事業を粛々と進めて参る所存ですのでご協力の程お願い申し上げます。

昨年の地区活動におきましては、11月11日、12日の両日に実施されました地区大会には大勢の会員の皆様のご出席を賜りました。さらに11月にはモーニングクラブ「大阪アーバンロータリークラブ」のR Iへの申請も終わりました、12月8日に創立総会を実施出来ました。

今年度はあと残すところ6ヶ月を切りますが、本年も地区活動にご協力をお願いいたします。

さて、今月はロータリー理解推進月間（Rotary Awareness Month）です。ロータリアン全員にロータリーについての知識と理解を一層深めていただき、同時にロータリアン以外の一般市民にもロータリーのことをよく知っていただくためのプログラム等を実施する月間となっています。

今年のR Iの長期計画の中に「公共イメージと認知度の向上」が取り上げられており、イメージとブランド認知を調和させる、職業奉仕を強調するとなっています。そして、地区の方針におきましても、私は公共イメージと認知度の向上を謳い、ロータリーの認知度の向上をあげさせていただきました。

今まではどちらかというとロータリーの活動は認知度の向上よりも静かに活動をしていればその内社会に知れ渡るといった考え方が大半であったかと思えます。しかしながら、昨今のようなIT革命の最中、私達が十分ロータリー活動についての理解を深めることを通じて、そのことを社会に対して発信していくことも必要であると考えています。

私の年度のR I会長は、本年度でエンドポリオを謳っておりまして、当地区も昨年2月にインドヘポリオワクチンの投与のために大谷P Gがお出かけ下さいました。その時の映像をテレビ大阪と共同でテレビ放送をし、全国のロータリアンにも広く知らしめることが出来ました。

新世代奉仕活動におきましても、ロータリアンと若い世代の方々との交流を通じてロータリーの広報に努めているところです。

また、クラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕活動におきましても若い世代の人達の模範となるようなロータリアンの行動が求められており、そのことがロータリーの認知度の向上に役立つものがあります。私達は常日頃の行動を通してロータリアンとしてのマナーと誇りとを広く社会に知らしめることにより、ロータリーの認知度の向上に結びつけようではありませんか…。

合 掌



RIが1月を「ロータリー理解推進月間」と指定している背景には、この月間にあたり、各会員がロータリーについての知識と真髓をより一層深めること、そしてもう一つには、一般社会の人々にロータリーを如何に理解していただくかという、二つの面があるかと思われまます。私達ロータリアンはその両面を考えて、ロータリーの素晴らしい理念を自分達の地域社会や国際社会で広め、実践して行くことが要請されています。

そこで、ロータリーを理解するにあたって、先立つことは、「ロータリーとは？」ということになります。その答えは「The Object of Rotary」「ロータリーの綱領」に集約されていますが、全国のクラブを対象にしたアンケート調査の結果、ロータリアンの半数以上の方々が、現行綱領の日本語訳は難解だと答えていらっしゃいます。

私達はロータリーの会合で「奉仕の理想」という歌をよく斉唱します。一般市民の方から「奉仕の理想」とはどういう意味ですかと、聞かれた場合、明解に、かつ簡潔にお答えできるロータリアンは少ないのではないのでしょうか。ロータリーの基本的な理念と実践方法が述べられている綱領を、ロータリアンが読んでも、また一般市民の目から見ても、「もっと分かり易い日本語訳はないだろうか」ということについて、日本ガバナー会傘下の「綱領等翻訳問題調査研究委員会」において過去2年間にわたり、その検討を続けて参りました。そしてその結果を、昨年11月25-26日に開かれましたロータリー研究会で発表いたしました。日本ガバナー会及び理事諮問委員会へ答申されます新しい日本語訳案は次の通りです。

ロータリーの目的 (The Object of Rotary)

ロータリーの目的は、有益な事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育成する。
特に次の各項を奨励することにある。

- 第1項：奉仕の機会を通して知り合いを広めること
- 第2項：奉仕の機会を通して、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、ロータリアン各自の職業において品位を保つこと
- 第3項：ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活において、奉仕の理念を実践すること
- 第4項：奉仕の理念で結ばれた職業人が、国際ロータリーの活動を通して、国際理解、親善、および平和を推進すること

ロータリーの公式英文である「The Object of Rotary」の日本語訳については、日本のロータリアンの中で多様な解釈と翻訳案があります。上記の和訳案も時代の変化と共にこれから変わって行くかもしれませんが、より多くの人々にロータリーの目的と活動を、より良く理解して頂く上での一助となることを願っております。

第1回 財団FVPセミナー報告

FVP: Future Vision Plan「未来の夢計画」

ロータリー財団委員会・財団FVP委員会
委員長 福家 宏 (八尾中央 RC)

日時：2011年10月22日(土) 14時～16時

場所：大阪YMCA会館2Fホール

司会：四宮孝郎FVP委員

雨模様の週末、当地区で初めてのロータリー財団 地区財団FVPセミナーが実施されました。今回は出席率がやや低めでしたが、会場にはロータリアンが熱心にセミナーを聴講する雰囲気を満たされていました。以下、発言内容をプログラム順に要約し、セミナー報告と致します。

■ 略語

TRF：ロータリー財団

FVP：未来の夢計画

DG：新地区補助金

GG：グローバル補助金

VTT：職業研修チーム

MG：マッチング・グラント

■ キーワード：6つの重点分野

- ① 平和と紛争予防／紛争解決
- ② 疾病予防と治療
- ③ 水と衛生設備
- ④ 母子の健康
- ⑤ 基本的教育と識字率向上
- ⑥ 経済と地域社会の発展

岡部泰鑑G：開会挨拶

FVPについてはすでに昨年度から色々な機会を通して、お伝えをしてきましたが、補助金のしくみが大きく変化して手続きが難しくなることが予想されます。世界では100のパイロット地区が(お隣の第2650地区も)すでに新しい制度のもとで活動しています。私たちも次年度には新補助金の申請が必要です。これをしないと折角寄付金を納めながら、それを利用するための補助金が受け取れません。各クラブにおいては、FVPの情報を習得された財団部門の委員長さんは、次年度委員会に委員として留まり、情報を切れ目なく伝達していけるような委員会構成をお考え頂きたいと思います。

横山守雄ロータリー財団部門顧問PG：FVPセミナーの趣旨説明

FVPは視点を変えればそれほど難しく考える必要は無いように思います。FVPは「未来の夢計画」と呼ばれていますが、ロータリアンにとって特段夢のように素晴らしいプランと言う訳ではありません。将来を目指したプラン程度にお考え下さい。ロータリー財団は近年見直しを迫ら

れました。財団プログラムへの参加が増え過ぎて、財団本部は対応しきれなくなり、制度を変えてロータリー財団の多くの権限を地区に移譲する形を取りました。例えばGSEがVTTと言う名称になるということがあります。基本的なコンセプトに大きな違いはありません。ですから、FVPに向けて地区でもクラブでも新しい委員会を設けなくても、今の構成のままでやって行けるはずで、あまり難しく考えることはないと思います。

福家 宏FVP委員長：FVP実施への流れと補助金制度概説

配布資料の第2770地区作成の「未来の夢計画ハンドブック」と「クイックガイド」をご紹介致しました。

ロータリー財団の歴史を振り返り、1917年アーチ・クラフの「世界のためによいことをしよう」の呼びかけを発端に1928年にTRFが設立されたこと、1947年に基金は大きく膨らみ、その後様々な財団プログラムが創設されTRFが発展の一途をたどったこと、MGは1965年からの35年間に1万件の申請があったが、その後わずか4年間で1万件に達し、TRFの運営を危うくし始めたこととお話しました。そしてTRFは様々な形で多数のロータリアンの意見を収集し、2005年4月から本格的な「FVP」への取り組みを開始。2010年7月から3年間のパイロット期間ののち2013年7月から全世界でFVPによる補助金制度が実施される過程をご紹介しました。

川田 隆FVP委員：新地区補助金について

新地区補助金は年に1回一括して地区に支給され、人道的のみならず教育的プログラムや建築など幅広いプロジェクトに利用可能であること。計画年度の次の年が実施年度という2年の業務サイクルと比較的短期で小規模な活動が利用対象になることを話され、現行の地区補助金と新地区補助金の相違点として新地区補助金がDDFの50%まで利用可能であることを紹介されました(現行は20%まで)。そしてVTTや奨学金を始めとするDGの活動事例を説明のうえDGの申請に至るまでの手続きや申請、報告につき紹介されました。

宮里唯子FVP副委員長：GGについて

GGには「クラブ&地区補助金」と「パッケージ・グラント」の2種類があるが、後者の利用は稀なので前者の利用のみにつき話を進められました。

GGの3プログラム：①人道的プログラム②奨学金③職業研修をご紹介の上、VTTにはDGもGGも利用可能だが、両者には大きな差異があって、GG利用の場合は必

ず6重点分野を満たすという条件があるとの説明をされました。またGGには最低金額(補助金下限15,000ドル)が設定されていて、国際的で大規模(金額規模ではなく効果の規模)なことや効果の持続性の高さが求められていることを説明の上、GGの要件について①人道的プロジェクト ②奨学金 ③VTT それぞれについて解説されました。そしてGGの業務サイクル、具体的な活動事例を紹介されたのち、GG申請にはどのような準備が必要なのかご説明の上、地区や他クラブと良い関係を構築して共にGGプロジェクトに取り組むべきことを話されました。

溝畑正信FVP委員：委員会構成についての考え方

FVP体制を迎えるに当たり、地区とクラブの委員会構成についての提言をされました。先ず二つの補助金の業務サイクルをご紹介の上、地区財団部門委員会構成は現行の4小委員会はそのままだに、内部で機能強化を図り、財団奨学・学友委員会、財団人道的補助金委員会にはDG, GG担当者を決め、職業研修委員会はGSE, VTT担当者を決める必要性について述べられました。また、社会奉仕委員会にも国際奉仕委員会にも補助金担当チームを設けて、地区協議会ではロータリー財団部門への出席が望ましいというご説明をされました。

クラブのロータリー財団委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会は従来の単年度制を見直し、副委員長が次年度委員長、委員長が次年度委員になるなどの工夫をしてFVP情報が正確に引き継がれるように、また各委員会にはFVP担当者を設けて地区協議会ではロータリー財団部門への出席を勧告されました。

質疑応答

- 震災支援義援金の流れについて
⇒岡部Gが丁寧に解説されました
- 今日のセミナーで使用されたパワーポイントは、希望するクラブに提供してもらえるか
⇒福家:これまでも提供して来ましたが、同様に本日もご自由にご利用下さい。
地区HPよりダウンロード可能です。
http://www.ri2660.gr.jp/active/zaidan_fvp.html
- ロータリーは単年度制という認識を持っているので戸惑うが、例えば新地区補助金の計画内容はどのような形で次年度に引き継ぐのか
⇒福家:引継ぎの方法はクラブごとに差異があるかと思いますが、例えばクラブ協議会を通してクラブ全体に計画を引継ぐのも一つの方法だと思います。

高島凱夫GN：講評と閉会挨拶

2時間にわたるセミナー聴講を労われたうえ、クラブ財団委員会は2~3年間は誰かが留まって、FVP情報が途切れ目なく伝達されるような配慮をするよう勧告されました。2012-13年度はDGの申請年度ではあるが同時にその年度の地区補助金プロジェクトの申請も並行して行う必要があるという注意喚起をされました。また今回の出席率はあまり芳しくなかったが、次回1月14日のセミナーには是非各クラブ3名の方が揃って出席して、FVPの情報を共有して頂きたいと話され、閉会宣言をなさいました。

【G補佐からの事前質問①】

GG = グローバル補助金 DG = 新地区補助金

Q1. FVP導入の主目的は、財団運営の簡素化にあるのか?

A. 大きな目的の一つと言えます。

ほかにはロータリー財団は次のように説明しています。

- ・財団の使命に沿った成果を出すこと
- ・クラブや地区レベルで「自分たちの財団」という自覚を高めること
- ・世界的目標(GG)と地元のニーズ(DG)の両方を果たすためのプログラムを提供するというのも目標の一つであり、特に後者は地元のニーズの充足が各地区に委ねられる

Q2. 新地区補助金について

① DDFの50%を新地区補助金とするものとして、当地区では概算どの程度か?

A. 繰越金額によりますが、20万ドル程度ではないかと思われます。

(以下参考:ウェビナー資料より)

2010-11年度 授与された補助金の平均額は64,000ドル。補助金あたりのプロジェクト平均数は21件。地区からクラブに支払われた補助金の平均額は3,061ドル

② GGによる奨学生のハードルが高くなる結果としてDGを利用する奨学生が増えてしまい、人道奉仕プロジェクトのための補助金が減ってしまうのではないかと

A. DDFを人道的プログラム、教育的プログラム、寄贈分野にどのように振り分けるかは、2月に行われるDDFシェア会議で予め決定されます

Q3. 6つの重点分野には関連するが、単なる物品の寄贈に留まるプロジェクトはGGの対象とはならないのか?

A. 効果の持続性が求められるので、その条件を満たさなくてはなりません。物品の寄贈も不可ではありません。但し、包括的アプローチ(研修と情報交換)がポイントで、プロジェクトの効果の持続性に加え、測定可能な成果、受益者社会との協力が不可欠。

Q4. シェアシステムは存続するのか？

A. その通りです。

Q5. DGを申請するタイムリミットは？

A. クラブから地区へは3月から4月、地区から財団へは6月初めとなります

【G補佐からの事前質問②】

GG = グローバル補助金 DG = 新地区補助金

Q1. FVPの目的が簡素化の方向に向かうのは良いことだが、どちらかと言えば財団の方にメリットがあるようだが？

A. 今日お聞き頂いた内容から、ご理解頂けるものと存じますが、確かに簡素化は財団にとっては仕事量が大幅に減るのでその通りだと言えますが、地区の裁量権が増すという利点もあります。

(参考：パイロット地区アンケートより)

デメリット：地区の責務が増える

メリット：地区の裁量権がふえる

Q2. DGは1プロジェクト当たりの補助額に上限は無いとの取り決めがあるが？

A. 地区財団人道的補助金委員会で上限を決定するので、無制限ではありません。

Q3. GGはハードルが高いので利用するクラブとしないクラブの2極化が進むのではないかと？

A. これは従来のMGでも言えることです。一度トライして成功すれば、次の年度も実施するということがあるかと思いますが、最初は確かに難しいと思いますが、慣れて頂くしかないとします。

GGやDGについては、地区がプロジェクトの立案や資金計画に積極的にかかわる事、クラブにおいては、IMや近隣の複数クラブでプロジェクトに取り組む事が必要になってきます。

Q4. 地区ロータリー財団部門の委員会構成は多くあり過ぎて、一度聞いても委員会の目的が良く分からない

いが、これを機に簡素化に結び付けばよいが？

A. ロータリー財団が推奨している小委員会は8委員会ありますが、当地区ではこれを4委員会に縮小して活動しています。それぞれの活動は年度初めの活動計画書でご判断頂きたいと思います。

Q5. 今回の財団プログラムの変更でGSEや国際親善奨学金が廃止されるが、何故廃止か理由が明らかにされないまま、一方的に決められているようだ。廃止されるプログラムは財団の使命に合わなくなったのか？

新しいシステムでは、新たな奨学金や職業研修チームが発足するが、この方が財団の使命に合致しているのか？

A. FVPの新しいシステムは一方的決定ではなく2005年4月からアンケート調査、フォーカスグループ、意見交換会が繰り返されたのちに、決定されています。新たな奨学金や職業研修チームは、地区として財団の使命に合うような形を作って行けばよいと思います。財団の使命は、世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供することであり、この目標を達成する為に、奨学金及び職業研修チームの二つのプログラムも一律ではなくなります。

ロータリー財団 地域セミナー報告

ロータリー財団委員会

委員長 福家 宏 (八尾中央 RC)

日時：2011年11月23日(水) 10時～17時

場所：大阪国際会議場12F 特別会議場

昨年に引き続き今年度もロータリー研究会は近藤雅臣 RI理事が大阪を開催地として招集されましたので、この付随会合である今年度第2回ロータリー財団地域セミナーも大阪で開催されました。会場は立派でしたが出席者数(250名以上)の割には狭く、テーブルは来賓席にのみ用意されており、資料確認やメモの作成には不便を感じました。橋本 譲第3ゾーンロータリー財団地域コーディネーターの司会で開会。来賓紹介の後、小沢一彦財団管理委員、近藤雅臣 RI理事、ビル・ボイド財団管理委員長、デビッド・ベンダー寄付増進部長がご挨拶をされ、引き続き表彰がありました。アーチ・クランフ・ソサエティー(累計25万ドル以上の寄付者)3名、メジャー・ドナー(累計1万ドル以上)4名、ポリオ特別功労賞1名、計8名の方が登壇され賞状の授与を受けられました。ロータリー財団は、寄付者を本当に大切にしています。ポリオ特別功労者の小永井氏は南太平洋の多くの小国に自ら赴き、ポリオ撲滅活動に取り組まれたということで、献身的奉仕は受賞に十分値するものであります。このあとよいよセミナー開始です。

【恒久基金現況】

恒久基金は投資収益のみを財団プログラムに利用します(年間800万ドル)。1,000ドル以上の寄付者はベネファクターと呼ばれます。人道的ニーズへの対応能力を高めるため、収入源を確保して財団の堅実な未来を築くことを目的として設立された基金は、その寄付額が幾分減少の傾向があるとのこと。一方2025年までに10億ドル達成の目標は現時点で68.8%に到達しています。

【公益財団法人ロータリー日本財団】

岩井 敏同財団理事長が、同財団設立への10年の道のりを語られ、財団運営には卓越した経理処理能力が求められており業務遂行はたやすくは無いことを話されました。課題として地方税の優遇措置をどう取りつけるかということが挙げられました。

【平和フェローの現況】

坂本俊雄ホストエリア・コーディネーター以下4名の方々は次のように語られました。ロータリーの最終目的は「世界平和」。平和フェローシップ(奨学金)の前身はポール・ハリス没後50周年を記念して設立され、2000年10月以後何度かの名称変更ののちこの名称となり、2002年に平和センターが設立され、世界の7大学が平和センターに指定されています。平和フェロー(奨学生)となるには資格要件がありますが、ロータリーは多くの人がこの制度を利用して海外の大学院で修士の学位を取得し、各地で起きている紛争の解決や平和問題のエキスパートとして活躍してくれることを願っています。平和フェローシップはロータリアンの寄付で賄われていません。平和フェロー1人に学位を与えるには7万5千ドルを要します。これまでの修了生は515名に上ります。国際基督教大学(ICU)には平和フェローのための東ヶ崎潔記念ダイアログ・ハウスが建設されていますが、建設費に充てる寄付金もお願い致します。

【東日本大震災と復興基金支援事業】

パネル・ディスカッション

小沢一彦東日本震災復興基金委員長がアドバイザー。同委員の北 清治氏、第2520地区菅原一博ガバナー、第2830地区小山内康晴ガバナー、第2530地区平井義郎地区財団委員長の4名がパネリストとなってディスカッションが行われました。第2520地区は岩手県、宮城県の両県にわたる広い地区で、リアス式海岸のため津波による被災地は広大で被害も深刻であったこと、17名のロータリアンが命を落とされ、25のRCが活動出来なくなったこと、復興支援には困難が伴っていることなど切々と訴えられました。第2830地区(青森)は八戸港近辺の深刻な被災状況を示されながら、パイロット地区が伝統的地区と協同事業が出来ない不便さを訴えられました。災害支援については特別な配慮があっても然るべきのご意見でした。第2530地区(福島)は地震津波災害に加えて原発事故による放射線被曝という難問を抱えており、困難な状況とともに、先の長い復興支援を期待しておられました。北 清治委員はこの震災に対するロータリー財団の迅速な基金設置を評価され、東日本震災復興基金には164件の申請があり、128件を審査し、57件

を承認。36件を本日中に審査するとの発表をされました。小沢委員長は日本委員会設立の過程と事務局 柚木裕子氏のご健闘ぶりを紹介され、基金への寄付金受けは来年6月末まで、申請は3月末までに延期することを発表されました。

【ポリオ撲滅：2億ドルのチャレンジ】

江崎柳節ゾーン・チャレンジ・コーディネーターは現在のポリオ発症状況を説明され(インドは発症数1件に)、アフガニスタン、パキスタン国境付近での撲滅活動の難しさや新型2価経口ワクチンの効果についても説明されました。またインドのNID(全国予防接種デー)では1日に1億7千万人もの子供に接種が行われたことと、2億ドルのチャレンジは1億9,520万ドル(98%達成)に達したことを紹介されました。

【ロータリー・カード】

小林完治ロータリーカード、ゾーン・コーディネーターは、ロータリアンは是非ともこのカードに配偶者ともに加入して、1日1,000円でも良いからこれで買い物をして欲しいと訴えられました。現在カードを利用した金額の0.3%は東日本震災復興に充てられることになっており、日本中のロータリアンが一斉にカードを利用すればそれは大きな力になることや、クラブの行事の支払にこのカードを利用するよう呼びかけられました。

【未来の夢計画】

清水優季財団室長より2013年に向けた移行手続きについて解説があり、これに引き続き日本の6パイロット地区から3地区(D2650, D2690, D2770)の代表者がパイ

ロット地区として経験された新補助金制度の利用について報告をされました。地区財団監査委員会の設置、地区内ロータリアンへの研修として

- ① 地区補助金管理セミナー
- ② PETS
- ③ 地区協議会
- ④ 地区ロータリー財団セミナー
- ⑤ G補佐研修

などを挙げてその重要性を説かれました。2013年に有効に補助金を活用するには、地区として行程表を作成すること、年度が始まる前に資金推進委員会は活動を始めること、奨学金・学友グループ、WCSグループ、VTTグループなどを編成してグループごとに計画を進めること、地区として補助金利用について申し合わせルールの作成をすること、新地区補助金申請書は3月末までに提出すること、などが推奨されました。

- ◎ 休憩時間中に、当地区のポリオ撲滅キャンペーンDVD「感染症ポリオ 残り1%の闘い」が放映されました。

【質疑応答】

開会後に質問用紙が入口付近にあることを知らされ、用紙はお昼に回収されました。従って昼食後の「東日本震災復興基金」や「未来の夢計画」などの重要なプログラムに関しては質問したくてもその方法がありませんでした。当然ながら質問数も極めて少なくセミナー運営方法に幾分の疑問を感じました。

このあと近藤RI理事による講評をもって、第2回ロータリー財団地域セミナーは閉会となりました。

2011-2012年度 国際ロータリーゾーン1,2,3 第40回 ロータリー研究会 報告

第40回ロータリー研究会

実行委員長 **井上 暎夫** (千里RC)

開催日：2011年11月24日(木)～26日(土)

場 所：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル

ホスト：東大阪東RC、大阪ネクストRC、千里RC

昨年の第39回ロータリー研究会(以下、研究会)に引き続き、本年も大阪での開催となりました。

今回の研究会も近藤雅臣 RI 理事を招集者として、カルヤン・パネルジー RI 会長ご夫妻、ウィリアム(ビル) B. ボイド TRF 管理委員長ご夫妻、エリオ・チェリニ RI 理事・財務長、朴柱寅 RI 理事ご夫妻をはじめ、RI 及び TRF の役員の方々をお迎えし、海外来賓16名、国内外登録者527名の参加を得て開催致しました。

研究会は元・現・次期 RI 役員及び招集者のゲストが参加する情報提供や討議のための会合で一つ以上のゾーン毎に毎年開催されます。数年前より招集者のゲストとしてガバナー補佐にも案内され、今回も昨年と同様、当該年度の RI 会長や TRF 管理委員長から直接話が聞ける貴重なチャンスであるとの要望があり、第2660地区のクラブ会長、地区委員長ほか希望者も特別にゲストとして加えられました。

●2011年11月24日(木)

於：リーガロイヤルホテル

RI 会長ご夫妻・TRF 管理委員長ご夫妻 歓迎晩餐会

●2011年11月25日(金) 本会議第1日目

於：大阪国際会議場

開会式、各種報告の後、京都産業大学教授の所 功先生に「皇室に学ぶ日本人の底力」と題して、講演をして頂きました。

続いて、両日にわたり、6つのセッションを行いました。それぞれのテーマ及びご担当頂きました方々は以下の通りです。(敬称略)

第1セッション 「RI 戦略計画―活動の実践化」

モデレーター(M)南園義一 RI 戦略計画委員・元 RI 理事

パネリスト(P)足立功一、(P)米田眞理子、(P)二神典子、(P)坂本俊雄

長期計画は、以後、日本語訳を戦略計画とされることが報告されました。

第2セッション 「職業奉仕の基本理念と実践」

(M)黒田正宏 RI 職業奉仕推進委員長・前 RI 理事

(P)深川純一、(P)小船井修一、(P)田中 毅

前年度廃止されました RI 職業奉仕委員会はカルヤン RI 会長の下で推進委員会として設置されました。

終了後休憩を挟んで、リーガロイヤルホテルにて希望晩餐会を行いました。

●2011年11月26日(土) 本会議第2日目

於：大阪国際会議場

第3セッション 「会員増強」

コーディネーター 服部芳樹

事例発表者(C/R)伊藤大亜、(C/R)味戸道雄、(C/R)波多野聖雄、(C/R)刀根荘兵衛
日本で最初の本格的 E クラブ、日本ロータリー E クラブ2650の真摯に取り組む事例が報告され、RI 会長が関心を示されました。

第4セッション 「新世代奉仕」

(M)海沼美智子 RI RYLA 委員

(P)三木 明、(P)浜名賢一、(P)関場慶博、(P)近藤眞道

東日本大震災を受けてオーストリアに招待された福島県の高校生の短期交換が報告されました。

第5セッション 「ホームストレッチのポリオ撲滅運動」

RRFC 橋本 謙

第6セッション 綱領翻訳問題調査・検討委員会特別セッション報告

コーディネーター 鳥居 滋

今年は昨年取り上げて皆様の関心が高かった綱領の和訳問題については、2日目の午前中いっぱいをかけて別会場にてセッションを行って頂き、そこでの討論の内容を午後の本会議で第6セッションにてご報告頂きました。

2日目には、第2750地区の前 ROTEX 会長の峰松加奈さんから青少年交換の報告をして頂きました。

エリオ・チェリニ RI 理事・財務長には「ロータリーとリーダーシップ」と題して約20分の講演を頂きました。そのほか、オープン・フォーラム、バンコク国際大会推進と続き、研究会を無事に終えました。

配偶者プログラム

「陶芸の喜び一心に残る作品ー」

講師：陶芸家 星野亨齊 氏

星野先生には東日本大震災の復興支援義援金活動の趣旨をご理解頂き、研究会のために特別に窯入れをして頂いた器をご提供頂きました。

付随プログラム

●2011年11月23日(祝・水)

ロータリー財団地域セミナー 於：大阪国際会議場

●2011年11月24日(木)

メジャードナー午餐会 於：リーガロイヤルホテル

ガバナー協議会 於：リーガロイヤルホテル

ガバナー会 於：リーガロイヤルホテル

GETS 於：リーガロイヤルホテル

日本恒久基金委員会 於：大阪国際会議場

財団法人ロータリー日本財団理事会 於：大阪国際会議場

このほか、25日には配偶者エクスカージョンとして、宝塚歌劇団の鑑賞を実施いたしました。

RI 会長に横山守雄 PDG、TRF 管理委員長に大谷透 PDG、エリオ・チェリニ RI 理事・財務長に川本典美前会長(大阪ネクスト RC)、朴柱寅 RI 理事に表 泰之さん(大阪ネクスト RC)がそれぞれエイドの役目を担って頂きました。また、本会議両日の司会を若林紀男 PDG が務めて下さいました。そして、2年にわたりご協力を頂きました3クラブの実行委員会のメンバーの皆様、当日お手伝いを頂きましたガバナー事務所の皆様、本当にありがとうございました。

2年連続の大阪での研究会も無事に終わることができました。皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。



スリランカチーム受入報告

研究グループ交換委員会

副委員長 田中義久(大阪西 RC)

平成23年11月4日より4週間のスリランカチームの受け入れは、当初の計画では春に行う予定であった。しかし3月11日の東日本大震災・津波被害・福島原発問題という三重苦により、日本全体での復興支援を目指すために、また日本の国際的イメージは最悪のものとなり、その年度での受け入れは中止となった。

そして年度が代わり、通常は年度をまたいだ予算執行の可否は不明でありましたが、国際ロータリーより了承の返答があり、また、いまだ放射能汚染のイメージの強い日本に対して、2004年に津波被害を受けたスリランカチームの熱い思い入れも頂き、春から秋に期間を移して受け入れプログラムが実行されたのである。

この期間変更のためか、スリランカチーム5名のうち2名のメンバーが変更された。しかも男性から女性への変更であり、ホストファミリーの受け入れという点で、また当然その職種も異なることから職業研修の研修先の変更の必要性から11月4日のプログラム開始直前まで様々な混乱が生じた。しかしながら天性の陽気なスリランカチームと誠意を持って「おもてなしの精神」を発揮していただいた各 RC の方々、また陰に陽に協力していただいた様々な皆様方のおかげで、大きな問題もなく GSE の受入プログラムを終了することができたのである。

スリランカには生きた動物を食することを嫌う哲学があるようで、ほとんどがベジタリアンである。これは日本の江戸時代の考え方に近く、宗教上の問題ではないらしい。だから人によっては卵や鶏肉、魚は食するようである。日本人にはおもてなしで定番の「お寿司」もスリランカの人たちには味が薄い食品と映り、2週間後には「食べ飽きた」という声も聞いた。その割に、肉の入っていないネギ焼きは、七味や胡椒、からしをたっぷりしみこませて食べ、結構好評であった。

チームの名前はMAYURA、シンハラ語でクジャクという意味だそう。クジャクの美しい羽根は5色の構成要素でできており、それをチームの5名と重ねているらしい。来年2月には日本からスリランカへの派遣がある。クジャクの羽が日の光にあたって輝くように、GSE 交換プログラムによってそれぞれの国の理解を深め、友好の光が広がってゆくことを祈りたい。



大阪アーバン ロータークラブ 創立総会 開催

創立会長 西口宗宏

7月より、創立準備委員会を中心に進めてまいりました大阪アーバンRCの創立総会を、12月8日（木）夕方、ホテルグランヴィア大阪において、開かせて頂きました。総会の議案は、①新会員の紹介、②クラブ定款細則の承認、そして③初年度の役員人事案の承認という3件を承認して頂き、滞りなく終了いたしました。そして、会員数25名のクラブとして、岡部ガバナーより「仮クラブ」の発足宣言をして頂き、年内には、日本事務局を通じて、設立申請書を提出する予定でございます。

岡部ガバナーには、地区の会合や公式訪問において、積極的に新クラブ創立の趣旨をお伝えいただき、また横山特別代表には、新クラブ創立のために必要な定款細則等のあらゆる部分においてご指導いただきました。さらには、池尻・境・村橋様の3年度に亘る地区代表幹事、ならびに西村クラブ奉仕・拡大増強委員長にも、新クラブ創立の準備活動が順調に動けるよう、基礎的な部分で多大なご尽力を賜りました。そして、最も大事なことは、地区会員皆様の静かな声援があればこそ出来たものと、心より感謝申し上げます。

今回のクラブは、ガバナーが直接スポンサーとなって立ち上げて頂くという、当2660地区では前例のない方法で設立されました。昨今の経済情勢などを考慮して、経費削減を基本とし、ロータリーの原

点に立ち返り、クラブ運営を考え直すという事からスタートいたしました。

例えば、毎週の例会は、朝7時30分から8時30分を基本として、9時過ぎにはそれぞれの職場において仕事に着手できるよう設定しましたが、これにより、会員各自のお昼の時間帯を解放し、勤務時間を拡大することを基本と致しました。また相互連絡は、基本的に電子メールで行うこととして、事務局は当分の間、設置せず、事務経費の抑制を図ります。従来への価値観には捉われないクラブとして、大阪に拠点をおくビジネスマンの、新しいライフスタイルとして提案させて頂き、厳しい経済情勢の下で、ロータリーの進むべき道を探っていきたいと思います。

大阪アーバンロータリークラブは、発足したばかりの小さなクラブでございます。年明けには、認証状が届くよう、準備をしている所でございます。地区の仲間入りをさせて頂くには、右も左も判らない状況で、地区の皆様には、相当ご迷惑をおかけする事となると存じますが、寛容の精神でもって、見守って下さいますよう、お願い申し上げます。ロータリークラブとしての誇りと重責を同時にかみしめて、社会の皆様にご貢献できるよう、会員一同、努めて参りたいと思います。地区会員の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



災害支援プロジェクト報告(第7回)

災害支援プロジェクト

委員長 **井上 暁夫** (千里RC)

前月号に引き続き、12月7日迄の(1)(イ)寄付金受入状況、(1)(ロ)地区基金申請案件承認・支出済状況、(2)現在の地区寄付金残高を開示させていただきます。現在、1クラブ当たり200万円を限度として地区拠出金を支援いたしておりますのと、1クラブ2回目の支援も行っていますので奮って被災地の支援プロジェクトを実行していただきたく存じます。地区内各会員皆様様の熱い思いを頂戴いたしまして重ねてお礼申し上げます。

(1) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況 (2011年12月7日現在)

	地区クラブ名および友好クラブ名(国名)	寄付金額(円)	備考
1	ペニンシュラRC (中国(香港)) ※松本年度の繰越し	197,600	大阪城北RC
2	マニラRC (フィリピン) ※松本年度の繰越し	12,060	大阪東RC
3	大東中央RC ※松本年度の繰越し	454,200	
4	摂津RC ※松本年度の繰越し	184,657	
5	Taipei Shihlin RC (台湾)	1,184,500	豊中南RC
6	豊中南RC	5,555,556	
7	IM第6組	500,000	
8	大阪城南RC	1,000,000	
9	豊原北區扶輪社 (台湾)	1,000,000	大阪城南RC
10	大阪そねぎRC	570,000	
11	TAICHUNG RC (台湾)	3,050,000	東大阪RC
12	守口RC	278,594	
13	八尾東RC	145,000	
	利息	111	
14	大阪ユニバーサルシティRC	200,000	
15	大阪城南RC	111,793	
16	交野RC	330,000	
17	大阪城南RC	12,074	
18	2360地区 (スウェーデン)	61,254	青少年交換関連
19	大阪城南RC	3,296	
20	くずはRC	560,000	
21	大阪梅田RC	340,000	
22	ローターアクトクラブ	116,751	
23	茨木東RC	100,000	
24	豊中RC	219,900	
25	地区大会募金箱への寄付	69,472	
26	地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭寄付	189,394	
	合 計	16,446,212	

(ロ) 地区基金申請案件承認状況 (2011年12月7日現在)

	クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	うち地区拠出基金(円)
1	くずはRC	自転車・懐中電灯寄贈	779,500	579,500
2	大阪西RC	修学旅行交通費支援	1,082,610	700,000
3	大阪東南RC	ボランティア活動	981,400	700,000
4	東大阪東RC	殺虫剤寄贈	972,216	486,108
5	大阪城南RC	家具備品寄贈	1,567,650	700,000
6	門真RC	教育用備品什器寄贈	239,120	39,120
7	大阪中之島RC	学校用家具備品寄贈	424,725	224,725
8	委員会主導1	学校用家具備品寄贈	976,340	976,340
9	大阪天王寺RC	学童保育施設のエアコン設置	2,057,899	700,000
10	委員会主導2	教育資材寄贈	665,228	665,228
11	大阪御堂筋RC	ローターアクトクラブ奉仕活動の交通費補助	457,500	230,700
12	大阪帝塚山RC	消防団へ軽消防自動車寄贈	5,058,600	700,000
13	東大阪西RC	小中学校に石油ストーブ寄贈	2,271,560	851,560
14	大阪RC	小学校にガイガーカウンター寄贈	498,750	298,750
15	吹田RC	幼稚園にランドセル寄贈	2,886,000	1,406,000
16	委員会主導3	鮭増殖プロジェクト支援	6,671,967	900,000
17	高槻RC	仮設住宅に浄水器寄贈	2,940,000	358,000
18	守ロイブニングRC	病院・幼稚園に浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
19	東大阪RC	支援物資寄贈	616,550	416,550
20	大阪城南RC	学校用家具備品寄贈	526,323	260,000
21	大阪南RC	コミュニティセンター設置	10,606,000	2,000,000
22	八尾RC	災害救護車両寄贈	3,776,335	1,303,605
23	豊中千里RC	巡回車両寄贈	1,452,874	1,000,000
		合 計	49,759,147	17,496,186

(2) 現在の地区寄付金残高 (12月7日現在)

① 直前ガバナー会から地区への返金		72,845,511円
② 地区内35クラブへ返金		36,824,413円
③ 地区内47クラブから預けられた額 (①-②)		36,021,098円
④ 地区内クラブからの寄付金	26件	16,446,212円
⑤ 地区内災害支援プロジェクト支援の拠出金	23件	17,496,186円
⑥ 2520地区 支援金		10,000,000円
⑦ 2530地区 支援金		5,000,000円
⑧ 送金手数料		27,100円
⑨ 地区大会募金箱 (北上西RCへ送金)		69,472円
⑩ 地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭 (RI第2520地区へ送金)		189,394円
地区寄付金残高 (③+④) - (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩)		19,685,158円

米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2011年10月末 全国寄付金合計額	493,592,926円 (前年度比3.90%減)
" 第2660地区寄付金合計額	31,088,390円 (前年度比15.15%増)
2011年10月末 全国寄付合計トップ10	
1. 第2750地区	32,560,600円
2. 第2650地区	31,868,790円
3. 第2660地区	31,088,390円
4. 第2770地区	29,288,000円
5. 第2580地区	28,273,745円
6. 第2590地区	27,911,000円
7. 第2760地区	26,167,000円
8. 第2690地区	17,334,570円
9. 第2710地区	17,313,490円
10. 第2790地区	16,062,200円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2011年10月)

氏名	回数	クラブ名
井戸本 忠彦	4回目	東大阪 RC
義之 清規	3回目	東大阪 RC
小島 靖弘	4回目	東大阪 RC
竹村 秀雄	6回目	東大阪 RC
山下 勝弘	6回目	東大阪 RC
北川 忠嗣	4回目	東大阪東 RC
岡田 耕治	1回目	東大阪東 RC
奥林 繁一	6回目	東大阪東 RC
須崎 洋一	8回目	東大阪東 RC
田中 哲男	2回目	東大阪東 RC
谷村 佳昭	5回目	東大阪西 RC
堀田 修平	15回目	枚方 RC
久保 義誓	2回目	茨木 RC
吉田 政雄	1回目	茨木 RC
中田 有紀	2回目	茨木東 RC
塩谷 嘉太郎	3回目	茨木東 RC
三好 洋二	4回目	池田くれは RC
張 虞安	4回目	交野 RC
石橋 高夫	2回目	守口 RC
井上 晶博	1回目	大阪 RC
岩波 清久	2回目	大阪 RC

氏名	回数	クラブ名
岸本 忠三	3回目	大阪 RC
近藤 雅彦	1回目	大阪 RC
萬野 尊昭	4回目	大阪 RC
丸山 功	2回目	大阪 RC
丹羽 昊	2回目	大阪 RC
小浦 芳生	1回目	大阪 RC
岡本 修	2回目	大阪 RC
高月 清	1回目	大阪 RC
辰野 勇	1回目	大阪 RC
辻本 健二	1回目	大阪 RC
生塩 之敬	1回目	大阪 RC
上野 昌也	2回目	大阪 RC
粟井 齊	1回目	大阪北 RC
古市 実	5回目	大阪北 RC
橋本 崇志	2回目	大阪北 RC
長谷川 義幸	3回目	大阪北 RC
廣瀬 哲三	1回目	大阪北 RC
廣田 元孝	3回目	大阪北 RC
岩本 宏美	1回目	大阪北 RC
井上 亮一	4回目	大阪北 RC
筧 喜八郎	1回目	大阪北 RC

氏名	回数	クラブ名
加納 繁照	3回目	大阪北RC
片瀬 貴文	4回目	大阪北RC
木本 武雄	4回目	大阪北RC
小山 大輔	1回目	大阪北RC
米谷 伸行	3回目	大阪北RC
鴻池 一季	7回目	大阪北RC
楠 賢一郎	1回目	大阪北RC
丸山 雅祥	4回目	大阪北RC
森 輝彦	4回目	大阪北RC
中村 順一	2回目	大阪北RC
阪本 勝義	2回目	大阪北RC
阪口 善雄	3回目	大阪北RC
瀬尾 忠志	1回目	大阪北RC
清水 英明	3回目	大阪北RC
杉原 俊一	2回目	大阪北RC
田口 晴義	1回目	大阪北RC
樽谷 清孝	2回目	大阪北RC
田中 成人	3回目	大阪北RC
上島 一泰	2回目	大阪北RC
山田 拓幸	1回目	大阪北RC
山本 博敏	1回目	大阪北RC
八木 一雄	3回目	大阪北RC
吉治 仁義	5回目	大阪北RC
岩津 陽介	3回目	大阪御堂筋RC
松本 憲旺	1回目	大阪御堂筋RC
丸尾 照二	2回目	大阪御堂筋RC
荒木 貴史	1回目	大阪南RC
青山 総一郎	1回目	大阪南RC
藤井 眞澄	1回目	大阪南RC
五十嵐 敢	3回目	大阪南RC
岩田 宙造	5回目	大阪南RC
北嶋 勇志	4回目	大阪南RC
越井 健	4回目	大阪南RC
久我 三郎	4回目	大阪南RC
松 順造	2回目	大阪南RC
錦織 達郎	3回目	大阪南RC
寺崎 泰彦	3回目	大阪南RC
梅原 弘記	1回目	大阪南RC

氏名	回数	クラブ名
米谷 龍二	1回目	大阪南RC
伊藤 定夫	1回目	大阪リバーサイドRC
石田 由美子	3回目	大阪リバーサイドRC
垣内 康弘	2回目	大阪リバーサイドRC
富 道雄	6回目	大阪リバーサイドRC
栗田 隆志	1回目	大阪咲洲RC
松本 功	3回目	大阪咲洲RC
山村 哲也	3回目	大阪咲洲RC
小山 章松	3回目	大阪船場RC
俣野 富美雄	3回目	大阪船場RC
清水 清一	2回目	大阪船場RC
高階 貞男	2回目	大阪船場RC
浅井 顯一	3回目	大阪天満橋RC
橋本 守之	1回目	大阪天満橋RC
西井 幾雄	1回目	大阪天満橋RC
奥 崇	7回目	大阪天満橋RC
在本 茂	2回目	大阪天満橋RC
宇野 稔	5回目	大阪天満橋RC
山村 朋史	2回目	大阪天満橋RC
矢野 昭	2回目	豊中RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年10月)

クラブ名	回数
東大阪東RC	40回目
守口RC	30回目
大阪RC	99回目
大阪北RC	75回目
大阪南RC	80回目
大阪天満橋RC	50回目
高槻西RC	7回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2011)

木村 新一	大阪リバーサイド RC	9月
片岡 重裕	新大阪 RC	9月
井本 喜代次	大阪東南 RC	9月
崎山 喜代志	大阪東南 RC	9月
北村 佳久	大阪東南 RC	9月
中島 成和	大阪南 RC	9月
暮松 毅	大阪南 RC	9月
今西 義人	くずは RC	10月
上野 徹	くずは RC	10月
中山 実	大阪天王寺 RC	10月
渡邊 猛	大阪天王寺 RC	10月
岩部 博	大阪東 RC	10月
吉澤 邦祠	大阪東 RC	10月
樋口 武英	大阪東 RC	10月
戸島 利夫	大阪東 RC	10月

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011)

川尻 勝久	1回目	茨木西 RC	9月
飯原 啓吾	4回目	新大阪 RC	9月
簡 仁一	4回目	茨木 RC	9月
木村 繁雄	2回目	東大阪東 RC	9月
村木 茂	1回目	新大阪 RC	9月
佐伯 崇邦	2回目	大阪なにわ RC	9月
馬場 孝志	3回目	茨木西 RC	9月
坪内 隆	1回目	茨木西 RC	9月
高島 健	3回目	茨木 RC	9月
吉田 了	2回目	大阪中之島 RC	9月
橋本 善治	2回目	茨木西 RC	9月
北村 譲	3回目	大阪中之島 RC	9月
三野 文男	4回目	大阪東南 RC	9月
網本 浩幸	1回目	大阪東南 RC	9月
田中 研一	2回目	大阪東南 RC	9月
山路 昌彦	3回目	大阪東南 RC	9月
内藤 雅敏	4回目	大阪東南 RC	9月
大塚 忠重	3回目	大阪東南 RC	9月

多田 龍弘	3回目	大阪東南 RC	9月
福光 一七	2回目	大阪西北 RC	9月
伊井 智昭	2回目	大阪南 RC	9月
五十嵐 敢	1回目	大阪南 RC	9月
山本 博史	2回目	大阪南 RC	9月
越井 健	4回目	大阪南 RC	9月
米田 幹郎	1回目	大阪南 RC	9月
林 信幸	1回目	大阪南 RC	9月
奥村 安正	2回目	大阪南 RC	9月
中西 庸夫	1回目	くずは RC	10月
小北 英夫	1回目	くずは RC	10月
嶋中 完治	1回目	くずは RC	10月
南 武	1回目	くずは RC	10月
田中 太一朗	1回目	くずは RC	10月
北村 隆	1回目	くずは RC	10月
酒井 公明	1回目	大阪中央 RC	10月
南川 博茂	4回目	大阪中央 RC	10月
福家 宏	5回目	八尾中央 RC	10月
新見 葵	1回目	大阪天王寺 RC	10月
大原 健司	2回目	大阪東 RC	10月
中川 宏一	1回目	大阪東 RC	10月
伊藤 貞男	1回目	大阪東 RC	10月
塩谷 眞治	2回目	大阪東 RC	10月
大橋 孝夫	1回目	大阪東 RC	10月
安積 義夫	1回目	大阪東 RC	10月

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2011)

山下 勝弘	東大阪 RC	9月
大山 文雄	大阪東南 RC	9月
岡本 浩	大阪城東 RC	9月
横山 順治郎	大阪南 RC	9月

2011年11月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	11月 月末 会員数		入会者 数 累計	退会者 数 累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	11月 月末 会員数		入会者 数 累計	退会者 数 累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	
			全員	女性										全員	女性							
I M 第1組	池田	38	37	3	0	1	-1	4	75.72	67.14	I M 第5組	大阪中央	50	54	5	5	1	4	3	92.69	73.02	
	池田くれは	29	29	1	0	0	0	4	82.04	79.86		大阪堂島	30	33	1	3	0	3	4	78.90	77.34	
	箕面	27	25	1	0	2	-2	3	86.36	81.81		大阪北	189	195	0	8	2	6	4	82.84	68.47	
	箕面中央	23	23	0	1	1	0	3	89.60	89.60		大阪北梅田	49	51	3	2	0	2	4	73.04	63.73	
	豊中	44	44	3	2	2	0	4	87.81	79.27		大阪西	71	71	0	1	1	0	4	91.61	84.54	
	豊中南	31	31	2	1	1	0	3	76.17	67.05		大阪大淀	53	56	0	4	1	3	3	82.28	70.39	
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	0	0	0	4	72.37	72.37		大阪リバーサイド	35	35	5	1	1	0	3	89.13	71.36	
	豊中千里	35	37	3	2	0	2	4	90.28	80.88		大阪西北	54	54	0	2	2	0	5	90.03	80.31	
	小計	247	246	13	6	7	-1		82.54	77.25		大阪そねざき	34	40	25	6	0	6	4	94.23	87.82	
													大阪梅田	36	33	0	0	3	-3	5	85.61	73.01
I M 第2組	茨木	26	26	5	1	1	0	4	92.22	81.08	大阪梅田東	32	32	0	1	1	0	4	84.37	75.00		
	茨木東	41	41	4	0	0	0	3	84.32	74.95	大阪ユニバーサルシティ	28	28	3	0	0	0	4	89.42	69.23		
	茨木西	29	29	6	0	0	0	4	91.38	66.38	小計	661	682	42	33	12	21		86.18	74.52		
	千里	38	38	0	1	1	0	5	87.89	77.46	大阪	258	269	0	16	5	11	3	66.59	54.25		
	千里メイプル	26	24	2	0	2	-2	3	93.94	77.27	大阪東	117	122	0	5	0	5	3	91.17	69.73		
	摂津	38	40	0	2	0	2	3	96.37	70.87	大阪東淀ちやまち	31	32	3	1	0	1	4	91.35	82.70		
	吹田	61	62	6	1	0	1	3	99.44	90.75	大阪城東	47	47	5	1	1	0	4	86.03	76.55		
	吹田江坂	39	40	3	1	0	1	5	93.89	82.25	大阪中之島	27	28	2	1	0	1	3	96.29	69.13		
	吹田西	48	48	1	0	0	0	3	100.00	91.30	大阪大手前	38	38	3	0	0	0	4	82.38	72.75		
	高槻	45	46	4	1	0	1	4	91.15	77.31	大阪城北	55	55	2	0	0	0	4	82.04	77.56		
高槻東	39	39	0	0	0	0	4	99.10	91.39	大阪天満橋	67	67	0	0	0	0	3	86.16	76.23			
高槻西	23	23	0	0	0	0	3	97.22	76.29	大阪鶴見	32	35	0	3	0	3	5	88.99	80.28			
小計	453	456	31	7	4	3		93.91	79.78	大阪淀川	34	34	2	0	0	0	4	93.37	75.71			
I M 第3組	大東	43	46	0	3	0	3	4	97.52	84.27	新大阪	35	37	0	2	0	2	4	82.19	79.47		
	大東中央	28	27	10	0	1	-1	4	89.35	70.89	小計	741	764	17	29	6	23		86.05	74.03		
	枚方	41	42	0	1	0	1	4	95.27	86.56	大阪フレンド	12	20	3	8	0	8	4	77.76	62.37		
	門真	30	33	4	3	0	3	3	91.92	75.76	大阪本町	26	27	2	1	0	1	5	90.06	76.57		
	交野	34	34	1	1	1	0	3	86.10	73.31	大阪御堂筋	34	34	0	0	0	0	3	88.54	71.88		
	香里園	17	17	0	0	0	0	3	90.20	78.43	大阪南	132	139	0	9	2	7	4	83.79	71.79		
	くずは	56	57	0	1	0	1	4	67.87	49.87	大阪難波	44	43	0	1	2	-1	3	92.00	74.08		
	守口	44	44	3	1	1	0	4	82.31	73.37	大阪なにわ	28	27	2	0	1	-1	3	84.16	75.65		
	守ロイブニング	26	26	4	1	1	0	3	80.77	66.67	大阪南西	16	16	3	0	0	0	4	88.09	80.60		
	寝屋川	39	38	5	0	1	-1	4	92.57	79.06	大阪西南	86	89	15	6	3	3	4	97.89	71.94		
四條畷	12	13	0	1	0	1	4	87.50	83.33	大阪船場	41	41	0	0	0	0	4	98.00	85.00			
小計	370	377	27	12	5	7		87.40	74.68	大阪心斎橋	38	39	0	1	0	1	4	97.00	79.48			
I M 第4組	東大阪	66	66	0	1	1	0	4	85.10	76.62	大阪うつぼ	33	34	4	1	0	1	5	95.37	82.92		
	東大阪中央	36	36	0	0	0	0	4	93.30	82.62	小計	490	509	29	27	8	19		90.24	75.66		
	東大阪東	64	64	6	1	1	0	2	76.10	62.50	大阪平野	37	37	3	0	0	0	3	93.40	80.19		
	東大阪みどり	27	27	1	1	1	0	3	82.72	64.20	大阪イブニング	16	16	3	1	1	0	3	91.67	75.00		
	東大阪西	35	35	0	0	0	0	4	96.54	68.21	大阪城南	55	55	0	0	0	0	3	100.00	91.06		
	大阪柏原	30	30	3	0	0	0	5	96.31	83.21	大阪咲洲	19	19	1	0	0	0	4	90.79	71.05		
	大阪ネクスト	17	17	6	0	0	0	4	65.00	54.40	大阪天王寺	60	60	0	0	0	0	4	94.77	82.43		
	八尾	73	72	0	2	3	-1	3	93.92	63.97	大阪帝塚山	58	60	4	3	1	2	4	91.45	70.93		
	八尾中央	19	18	0	0	1	-1	5	90.97	84.90	大阪東南	50	50	0	0	0	0	4	92.00	72.00		
	八尾東	23	23	2	1	1	0	4	80.77	61.95	小計	295	297	11	4	2	2		93.44	77.52		
小計	390	388	18	6	8	-2		86.07	70.26													
合計	クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員数	女性 会員数	入会者 数 累計	退会者 数 累計	増減		平均 出席率	平均 出席率												
	82	3647	3719	188	124	52	72		88.2	75.5												

文庫通信 (291号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- ◎「米山記念館と東京ロータリークラブの協力関係」 宮本四郎 2011 2p
(米山梅吉記念館館報)
- ◎「親睦Fellowshipについて」 本田博己 2011 2p (ロータリーの力)
- ◎「歴史に残る1ページ：『ロータリー年度』の由来」 RI 2011 1p
(国際ロータリー・ニュース)
- ◎「歴史に残る1ページ：研究グループ交換のはじまり」 RI 2011 2p
(国際ロータリー・ニュース)
- ◎「財団が『ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金』を設立」 RI 2011 2p
(国際ロータリー・ニュース)
- ◎「今、ロータリー・ルネッサンスのとき」 関場慶博 2011 10p (D.2530地区大会記録)
- ◎「ロータリーの職業奉仕と日本の伝統的実業倫理」 安平和彦 2011 12p
(D.2500地区大会報告書)
- ◎「ロータリーの奉仕活動について」 前川昭一 2011 5p (D.2720地区大会記録)
- ◎「歴史に残る1ページ：会場監督」 RI 2011 1p (国際ロータリー・ニュース)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

岩田喜義 会員

(高槻東RC)

2011年12月7日逝去(享年76歳)

幹事、米山奨学委員長、親睦活動委員長、SAA

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

吉川謹司 会員

(東大阪東RC)

2011年12月11日逝去(享年79歳)

1998～1999年度ガバナー

会長、副会長、幹事、無任所理事

第31回ロータリー研究会実行委員長、2004年国際大会事務総長、

規定審議会代表議員、新世代合同委員長会議委員長、危機管理委員会委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

<お知らせ>

●お詫びと訂正

月信12月号に間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

敬 弔 (誤) 吉田 乙彦会員

(正) 古田 乙彦会員

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | |
|----------|-------|
| ・ガバナー | 岡部 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部 泰鑑
地区代表幹事	境 高彦
地区副代表幹事	渡邊 邦雄
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	納多寿恵子

●休日

土曜、日曜、祝日

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

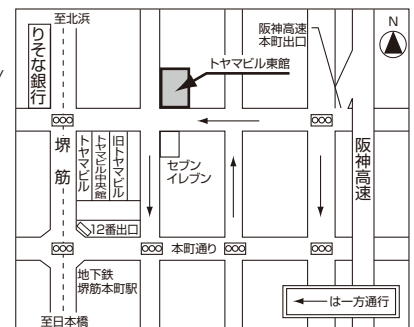
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp